

日本原子力学会炉物理部会第46回全体会議議事録

日時：平成29年3月28日(火)12:00-13:00

場所：日本原子力学会 2017 春の年会 F会場

(東海大学湘南キャンパス 16号館 16-206 教室)

(平成28年度下期分 審議および活動報告)

<表彰、感謝状授与>

1. 感謝状授与式

小原部会長から炉物理連絡会及び炉物理部会の活動に多大なる貢献をされ原子炉物理学の研究及び教育の発展に尽くされた古橋晃先生に炉物理部会から感謝状を贈呈する旨の説明がなされ、全会一致で贈呈が決定した。古橋先生への感謝状の贈呈が行われ、引き続き古橋先生からご挨拶頂いた。

2. 平成28年度炉物理部会賞 貢献賞、奨励賞授与式

平成28年度炉物理部会賞の表彰が行われた。受賞は下記のとおり、

○貢献賞

「核データ処理システムFRENDYの自国開発」

多田 健一氏（日本原子力研究開発機構）， 国枝 賢氏（日本原子力研究開発機構）

○奨励賞

「GPUを用いたモンテカルロ計算の高速化に関する研究」

大久保 卓哉氏（日本原子力研究開発機構）

「Characteristics法の高精度化・高効率化に関する研究」

田渕 将人氏（株式会社原子力エンジニアリング）

「事故耐性燃料材料としてのSiCの反応度測定実験および解析に関する研究」

松宮 浩志氏（株式会社東芝）

<審議事項>

3. 炉物理部会規約改定について（資料 46-1-1, 46-1-2）

小原部会長から炉物理部会規約改定について、炉物理部会運営細則及び炉物理部会運営小委員会細則について経緯及び改定案の説明がなされた。運営細則、運営小委員会細則では、部会長任期を2年とする。次年度部会長予定者は副部会長を経験し、予算編成に関わるために副部会長については1ないし2名とする。細則内で各細則名称の記述が異なるため、それぞれ運営細則、小委員会細則とするなど文言の修正については部会長・運営小委員会に一任するとして、本2件の細則について承認された。

<報告および協議事項>

4. 平成 28 年度予算実績報告（資料 46-2）

財務小委員会担当幹事より配布資料 46-1 に基づき、平成 28 年度の予算及び実績について報告がなされた。平成 28 年度は炉物理ロードマップ調査・検討 WG への旅費支出が増えたが予算組み替えと夏期セミナー余剰金などで最終的には若干の黒字となった。

5. 炉物理ロードマップ調査・検討 WG 報告（資料 46-3）

千葉 WG 幹事から炉物理ロードマップ調査・検討 WG の進捗状況について報告がなされた。オブザーバー参加を歓迎しており、参加希望の場合は、千葉 WG 幹事へ連絡することが周知された。また資料として示された炉物理の Vision と Mission に関連して、結論は炉物理部会として意見として出されるかどうかの確認するコメントがなされた。これに対して、小原部会長、千葉 WG 幹事からまずは WG としてまとめること、出てきたものに対しては別途部会として意思決定するとの回答があった。

6. 「炉物理の研究」第 69 号の発行計画

編集小委員会担当幹事から炉物理の研究 68 号, 69 号について発行が滞っていることが報告された。68 号はなるべく早く発行できるようにすること、69 号に関しては内容を再度精査することが説明された。

7. 炉物理夏期セミナーテキスト公開について（テキスト電子化公開担当）（資料 46-4）

テキスト電子化担当から炉物理夏期セミナーテキストの電子化の進捗状況について報告がなされた。電子データの公開方針として、直近二年分は非公開とし、2 年以上経ったテキストは随時販売 (DVD+送料) すること、電子化及び公開の許可をもらっていない講師の講義資料については当該部分を削除して公開することが承認された。

(平成 29 年度上期分 審議および活動報告)

8. 新体制/運営委員紹介（資料 46-5）

下記の次期運営委員が選任され、了承された。（下線は新任者）

資料について名称が細則と異なるとの指摘があり、表記は確認のうえ修正することとした。引き続き新委員の挨拶が行われた。

小原 徹	部会長（任期 1 年）	東京工業大学
<u>山本 章夫</u>	<u>副部会長（任期 1 年）</u>	<u>名古屋大学</u>
藤村 幸治	庶務幹事（任期 1 年）	日立製作所
北田 孝典	部会等運営委員会担当運営委員	大阪大学
高木 直行	編集委員会担当運営委員	東京都市大学

奥村 啓介	HP 担当幹事	原子力機構
小嶋 健介	HP 担当幹事	原子力機構
多田 健一	HP 担当幹事	原子力機構
郡司 智	財務小委員会担当幹事 (任期 1 年)	原子力機構
田淵 将人	財務小委員会担当幹事 (任期 2 年)	原子力エンジニアリング
相澤 直人	編集小委員会担当幹事 (任期 1 年)	東北大学
木村 礼	編集小委員会担当幹事 (任期 2 年)	東芝
北田 孝典	セミナー小委員会担当幹事 (任期 1 年)	大阪大学
竹田 敏	セミナー小委員会担当幹事 (任期 1 年)	大阪大学
千葉 豪	セミナー小委員会担当幹事 (任期 2 年)	北海道大学
岩元 大樹	学術交流小委員会担当幹事 (任期 1 年)	原子力機構
小野 道隆	学術交流小委員会担当幹事 (任期 2 年)	GNF-J
卞 哲浩	学術交流小委員会担当幹事 (RPHA 担当)	京都大学原子炉実験所
左近 敦士	学生・若手小委員会担当幹事 (任期 1 年)	近畿大学
竹本 友樹	学生・若手小委員会担当幹事 (任期 2 年)	三菱重工
吉岡 研一	部会選出原子力学会代議員	東芝
山本 章夫	部会選出原子力学会代議員	名古屋大学

<報告および協議事項>

9. 平成 29 年秋の大会での企画セッションと第 2 回日中韓炉物理 WS 告知 (資料 46-6)

学術交流小委員会担当幹事から平成 29 年秋の大会企画セッションについて説明がなされた。2 月に企画案を募集し、名古屋大学山本先生から「炉物理ロードマップの更新について (報告)」が提案された。次回の企画セッションについては本提案で行うことが了承された。

日韓サマースクールの日程決定 (8 月 7 日の週)、RPHA2017 のアナウンスがなされた。次回 RPHA2019 は日本が開催地となっており、次回候補地については運営小委員会にて原案を出し、最終的にはメール審議で決定することとした。RPHA2019 の日程に関しては ND2019 が日本開催であること、核データ研究会が 11 月第 3 週に予定されている旨がコメントされた。
10. 平成 29 年度予算計画 (資料 46-7)

財務小委員会担当幹事から平成 29 年度予算 (前回 45 回全体会議で承認) が報告された。学生の旅費補助が計上されており、大学教員には学生の積極的な応募を促すよう周知された。
11. 第 49 回炉物理夏期セミナー開催計画 (資料 46-8)

セミナー小委員会担当幹事から炉物理夏期セミナーの概要について説明がなされた。

日程は8月1日～3日とし、テーマは炉心設計と解析手法。講師に関しては、これから依頼をする旨が説明された。

12. その他

前回全体会議で、放射線工学部会の下に放射線防護につかう群定数 ISO 規格化対応検討 WG ができるのに際し、炉物理部会も協力し、必要な意見を言うための代表を送ることが決定した。人選は JAEA 須山氏に一任され、部会長指名とすることとなっていた件について、データ処理の観点から FRENDY の開発を行っている JAEA 多田氏、学会の標準委員会で活躍されている京大炉の中島先生を部会として決定したことが報告された。

九州大学石橋先生から日韓サマースクール（8月7日の週）について、講師協力の依頼がなされた。本件については学術交流小委員会が担当し、アナウンスは多田 HP 担当幹事が対応することとなった。

北田部会等運営委員会担当運営委員から学会のプログラム編成委員が6月に切り替わるのに際し、半分ほど入れ替えること、新任者は個別に声をかける旨が説明された。

配布資料

資料 46-1-1 炉物理部会運営細則（改正案）

資料 46-1-2 炉物理部会運営小委員会細則（改正案）

資料 46-2 平成 28 年度予算実績報告

資料 46-3 「炉物理ロードマップ調査・検討 WG」進捗報告

資料 46-4 炉物理夏期セミナーテキスト公開について

資料 46-5 平成 28 年度 29 年度炉物理部会運営委員リスト（案）

資料 46-6 平成 29 年秋の大会企画セッション と第 2 回日中韓炉物理 WS（RPHA）の告知 について

資料 46-7 平成 29 年度予算計画

資料 46-8 第 49 回炉物理夏期セミナー開催計画

以上